

産業能率大学 情報マネジメント学部

会計学の基礎	履修年次	2	
	単位	2	
崎 章浩	配当期	後	
	授業方法	講義 / 対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>本講義の対象は株式会社である。株式会社、とくに上場企業はその財政状態や経営成績を一般に公開しなければならない。そのために、企業会計にはさまざまな原理、原則があり、それらに従って会計処理が行われる。こうしたことを知ることは、株式会社が公開している財務諸表を理解し、利用していくうえで必要不可欠なことであり、それらの説明がこの授業の中心になる。</p> <p>また、企業では、取引するにあたって、相手企業を調査することがある。その際、財務諸表は重要な分析資料になる。財務諸表には、財政状態を明らかにする貸借対照表、経営成績を明らかにする損益計算書、キャッシュの増減を明らかにするキャッシュ・フロー計算書などがあり、それらを読みこなすことによって、取引相手の収益性や財務安全性、将来性がわかる。そのために、この授業で学ぶ企業会計は非常に重要な知識である。</p> <p>授業は配付資料にもとづいて進めていく。必要があれば、そのつど参考資料を提示する。また、実際の連結財務諸表を用いて企業を分析する。そして、講義の理解度を確認するために、毎回小テストを実施する。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・企業の経済活動を映す鏡である財務諸表を理解し、その内容を説明することができるようになる。 ・企業の財務諸表を実際に分析し、当該企業の収益性や財務安全性等を評価することができるようになる。 ・グループ研究において、将来就職を考えている業界の動向や、希望する企業の財務諸表を分析することにより、業界や企業の現状を把握し、その将来を予測する能力を身につけ、卒業後も的確に行動することができるようになる。 			
成績評価の方法			
・授業出席、授業外学習、小テスト、提出課題、定期試験で総合評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	ガイダンス 財務諸表とステークホルダー	8	財務諸表分析の意味と、財務安全性に関する分析
2	財務諸表とは 企業会計の基本ルール	9	収益性と成長性に関する分析
3	貸借対照表の意義とその構造	10	グループ研究(1) 財務安全性や収益性等に関する各種指標の時系列分析
4	流動資産、固定資産、および繰延資産の意義と、その構成要素	11	グループ研究(2) 財務安全性や収益性等に関する各種指標の企業間比較分析
5	負債、および純資産の意義と、その構成要素	12	グループ研究(3) プレゼンテーション用資料の作成
6	損益計算書の意義と構造、およびその構成要素	13	プレゼンテーション(1)
7	キャッシュ・フロー計算書の意義と構造、およびその構成要素	14	プレゼンテーション(2)